

キー投影型 Bluetooth® キーボード TK-PBL042BK ユーザーズマニュアル

このたびは、エレコムキー投影型 Bluetooth® キーボード TK-PBL042BK をご購入いただき誠にありがとうございます。

TK-PBL042BK は、Bluetooth® 無線技術に対応したワイヤレス英語配列キーボードです。このマニュアルで TK-PBL042BK の操作方法と安全にお取り扱いいただくための注意事項を記載しています。ご使用前に、必ずお読みください。また、このマニュアルを読み終わったあとは、大切に保管しておいてください。
※ このマニュアルでは一部の表記を除いて TK-PBL042BK を「本製品」と表記しています。

■ 絵表示の意味

	危険	この表示の注意事項を守らないと、火災・感電による死亡や大けがなど人身事故が生じる高度な危険があります。
	警告	この表示の注意事項を守らないと、火災・感電などによる死亡や大けがなど人身事故の原因になります。
	注意	この表示の注意事項を守らないと、感電やその他の事故によりけがをしたり、他の機器に損害を与えたりすることがあります。
		「してはいけない」ことを示します。
		「しなければならないこと」を示します。
		「注意していただきたいこと」を記載しています。
		「お読みいただきたいこと」や「参考にしていただきたいこと」を記載しています。

安全にお使いいただくために

けがや故障、火災などを防ぐために、ここで説明している注意事項を必ずお読みください。

	危険	
		同梱の充電用ケーブルを使用し、当社指定の充電条件を守ってください。 その他の充電ケーブルまたは条件で充電すると、充電電池が発熱、液もれ、破裂するおそれがあります。
		本製品の分解・改造・修理などをしてください。 火災・感電・故障などの原因となります。 故障時の保証の対象外となります。
		液もれた場合は使用しないでください。 内蔵の充電電池より液もれがあった場合は、液もれた充電電池は使用しないでください。発熱、破壊される原因となります。
		本製品の異常に気づいたら使用を中止してください。 液もれ、変色、変形、その他今までと異なることに気づいたら使用しないでください。そのまま使い続けると、発熱、破裂するおそれがあります。
		本製品から漏れた液が体や衣服についたら、きれいな水で洗い流してください。 内蔵の充電電池の中の液が皮膚や衣服につくと、皮膚に傷害をおこす原因となります。
		内蔵の充電電池の中の液が目に入った場合は失明の原因になることもあるので、こすらずにすぐに綺麗な水で充分洗い流し、直ちに医師の治療を受けてください。
		ぬれた手で本製品を抜き差ししないでください。 感電やケガをするおそれがあります。
		決められた電圧でご使用ください。 範囲外の電圧で使用すると、発熱、発火、感電、ケガの原因になります。

	警告	
		本製品に水や金属片などの異物が入ったときは、すぐに使用を中止してください。そのまま使用すると、火災や感電の原因になります。
		本製品が発熱している、煙がでている、異臭がしているなどの異常があるときは、すぐに使用を中止し、パソコンをシャットダウンさせ、火傷しないように発熱していないことを十分確認してください。そのあとで、お買い上げの販売店またはエレコム総合インフォメーションセンターまでご連絡ください。 そのまま使用すると、火災や感電の原因になります。
		本製品を落としたり、ぶつけたりしないでください。 万一、本製品が破損した場合は、すぐに使用を中止し、本製品の電源を OFF にしてください。そのあとで、お買い上げの販売店またはエレコム総合インフォメーションセンターまでご連絡ください。 破損したまま使用すると、火災や感電の原因になります。
		本製品を火中に投入しないでください。 破裂により火災やけがの原因になります。

	注意	
		本製品を次のようなところには置かないでください。 ● 日のある自動車内、直射日光のあたるところ ● 暖房器具の周辺など高温になる場所 ● 多湿なところ、結露をおこすところ ● 平坦でないところ、振動が発生するところ ● マグネットの近くなどの磁場が発生するところ ● ほこりの多いところ

	注意	
		本製品は防水構造ではありません。水などの液体がかからないところで使用または保存してください。 雨、水しびき、ジュース、コーヒー、蒸気、汗なども故障の原因となります。

		● 本製品の誤動作によって、重大な影響を及ぼす恐れのある機器では使用しないでください。 ● 本製品を廃棄するときは、お住まいの地域の条例および法令に従って処分してください。
--	--	-------------------------------------------------------------------------------------------

■ お手入れのしかた

本製品が汚れたときは、乾いたやわらかい布でふいてください。

		シンナー、ベンジン、アルコールなど揮発性の液体を使用すると、変質や変色を起こす恐れがあります。
--	--	-------------------------------------------------

ワイヤレス(無線)についての注意事項

本製品は 2.4GHz 帯全域を使用する無線設備であり、移動体識別装置の帯域が回避可能です。電波方式には GFSK 方式を採用し、干渉距離は 10m です。
2.4GHz 帯は、医療機器や、IEEE802.11b/11g/11n 規格の無線 LAN 機器などでも使用されています。

- 本製品を使用する前に、近くで「他の無線局*」が運用されていないか確認してください。
- 万一、本製品と「他の無線局*」との間に電波干渉が発生した場合は、使用場所を変更するか、または本製品の使用を停止してください。

※ 「他の無線局」とは、本製品と同じ 2.4GHz 帯を使用する産業・科学・医療機器のほか、他の同種無線局、工場の生産ラインなどで使用される免許を要する移動体識別用構内無線局、免許を要しない特定小電力無線局、アマチュア無線局を示します。

	警告	
		● 誤動作により重大な影響を及ぼす恐れのある機器では使用しないでください。まれに外部から同じ周波数の電波や携帯電話の電波の影響を受け、誤動作する、動作が低下する、または動作しなくなることがあります。 ● 病院など、電波使用が禁止されている場所では本製品を使用しないでください。本製品の電波で電子機器や医療機器(例えばペースメーカー)などに影響を及ぼす恐れがあります。 ● 航空機の安全運航に支障をきたすおそれがあるため、無線式キーボードを航空機内で使用することは、航空法で禁止されています。ご搭乗前に本製品の電源を切り、ご搭乗後は常にご使用にならないようお願いいたします。 ※ 本製品の故障等により事故や社会的な損害などが生じても、弊社ではいかなる責任も負いかねますので、ご了承ください。

レーザー製品における注意事項

本製品は、下記事項に十分注意した上でご使用下さい。

- (1) 顕微鏡・虫眼鏡等の光学的手段を用いてレーザー光を観察したり、レーザーを肉眼で長時間覗き込むことは、目に悪影響を及ぼす可能性があるため絶対にやめください。(レーザー光には肉眼で見えないものもあります。)
- (2) レーザー照射部を人の目に向ける事は危険ですのでおやめください。
- (3) レーザーセンサーはガラスや鏡の表面では正常に動作しない場合があります。
- (4) キーボード以外の用途に使用しないでください。
- (5) 範囲を超えた気温に製品がさらされる場合は、パソコンの電源を切り、気温が範囲内になるまで製品をお使いにならないでください。
- (6) 正常に動作しない場合は、パソコンの電源を切り、エレコム総合インフォメーションセンターにご連絡ください。

パッケージ内容の確認

本製品のパッケージには次のものが入っています。作業を始める前に、すべてが揃っているかを確認してください。なお、梱包には万全を期しておりますが、万一不満足、破損品などがありましたら、すぐにお買い上げの販売店またはエレコム総合インフォメーションセンターまでご連絡ください。

- キーボード本体 1 個
- USB ケーブル [USB A ⇄ mini B] (1.1 m) 1 本
- フィンガーストラップ 1 個
- ユーザーズマニュアル(このマニュアルです) 1 部

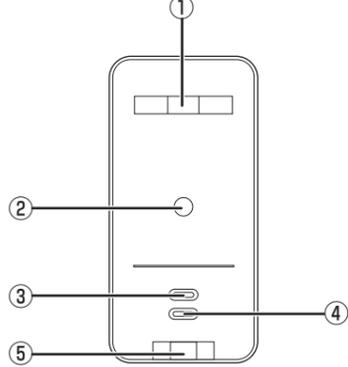
製品をパソコンで使用するまでの流れ

本製品をはじめて使用するときは、次の順で本製品とパソコンを操作・設定します。

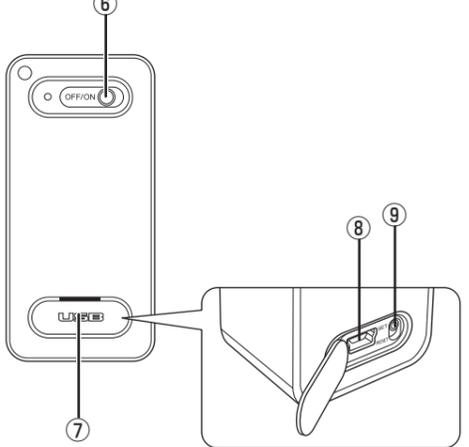
	1 充電する	
	2 電源を入れる	
	3 ペアリングする	(裏面をご覧ください)
		または
	3 USB 接続で使用	

各部の名称とはたらき

■ 正面



■ 背面



	1 投影部(赤色レーザーダイオード)	赤く点灯して、キーボードイメージを机の上などに投影します。
	2 センサ	指から反射した赤外線を感じし、押されたキーや動きを読み取ります。
	3 状態表示ランプ	ペアリング待機中は、濃い青色で点滅します。再接続中は、淡い青色で点滅します。接続が完了すると、淡い青色で点灯します。USB 接続中は、緑色に点灯します。
	4 充電/電池残量表示ランプ	内蔵電池の容量が少なくなるとオレンジ色に点滅します。内蔵電池の充電中は赤色に点灯します。内蔵電池の充電が終了して容量が十分な場合は緑色に点灯します。
	5 赤外線照射部(赤外線レーザー)	赤外線レーザーを使用し、目に見えないひ光面を形成しています。
	6 電源スイッチ	キーボードユニット本体の電源を入(ON)/切(OFF)します。
	7 USB コネクタカバー	このカバーを取り外して、充電用 USB ケーブルを接続します。
	8 USB コネクタ	付属の USB ケーブル [USB A - miniB] を接続して、本製品を充電します。
	9 リセットスイッチ	通常使用時は SET に設定します。スイッチを RESET に切り替えてから SET に戻すことで、感度設定が初期設定に戻ります。

	FN キー	スペース							

キーボードを充電する

初回使用時や長時間ご使用にならなかった場合は、必ず充電してからご使用ください。
充電には付属の USB ケーブルを使用します。

- 1 充電が完了するまで、約 4 時間かかります。4 時間経過後でも充電表示ランプが消灯しない場合は、USB 充電ケーブルを取り外し、いったん充電を取りやめてください。4 時間を越えて充電を続けると、電池寿命が短くなったり、故障の原因となります。
● 家庭用コンセントから充電する場合は、エレコム製 USB 用 AC アダプタ(別売り)をお使いください。

- 1 背面の USB コネクタカバーを開け、USB コネクタに付属の USB ケーブルの USB [mini B] コネクタを接続します。



電源をオン/オフする

本製品を使用するときは、キーボード本体の電源を入れます。

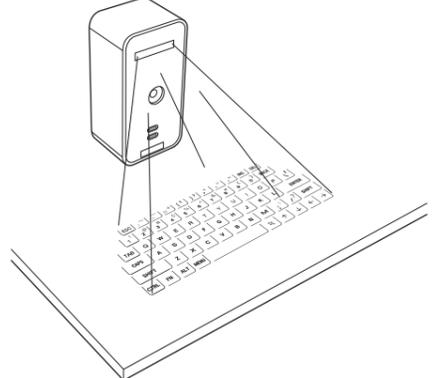
- 1 電源スイッチを ON の位置にスライドさせます。
● まだ、1 度もペアリングしていない場合は、ペアリング待機状態になり、状態表示ランプが濃い青色で点滅します。
● 以前にペアリングした機器が使用可能状態になっている場合は、淡い青色に点滅し機器との接続を開始します。

- 1 本製品を使用しないときは、キーボード本体の電源を切ることで電池を節約できます。
電源スイッチを OFF の位置にスライドさせてください。

キーボードを使用する

■ 投影面を決める

本製品はメインユニットを平らな机などにセットして、キーボードイメージを投影させて使用します。



- 1 次のような場所には設置しないでください。
● 太陽光が直接当たる場所
● タングステン、ハロゲン、白熱電球など色温度の低い光源の下
● 平坦でない場所、凹凸がある場所
● ガラス面や鏡面
● 本製品と投影面とのあいだに、障害物がある場所

■ 投影するキーボードの明るさと感度を調整する

FN キーを押しながら ← キーを押します。
投影されるキーボードの明るさを暗くし、感度を下げます。



FN キーを押しながら → キーを押します。
投影されるキーボードの明るさを明るくし、感度を上げます。



- 1 3段階で調整できます。投影イメージを消すことはできません。電源をオンにした時は、常に中間の明るさになります。

■ キータッチ音を調整する

FN キーを押しながら ↑ キーを押します。
キータッチ音の音量を大きくします。



FN キーを押しながら ↓ キーを押します。
キータッチ音の音量を小さくします。



- 1 無音を含む 6 段階で調整できます。調整した音量は、電源をオフにしても記憶されます。電源をオンにするときは周囲の状況にご注意ください。

■ 省電力モードを使用する

使用中に FN キーを押しながら BACK キーを押します。
投影イメージを消します。



投影エリアを指 3 本でタップすると、キーボードの投影を元にもどります。



USB 接続で使用する

本製品とパソコンを USB ケーブルで接続して、有線キーボードとして使用できます。

- 1 パソコンを起動します。
- 2 本製品の電源を ON にします。

- 3 背面の USB コネクタカバーを開け、USB コネクタに付属の USB ケーブルの USB [mini B] コネクタを接続します。

- 4 USB ケーブルの [USB A] コネクタをパソコンの USB ポートに接続します。

- 1 コネクタの向きと挿入場所を十分に確認してください。

- 5 ドライバが自動的にインストールされます。正しく接続されると、状態表示ランプが緑色に点灯します。



ペアリングする

本製品と接続機器を Bluetooth で接続するには、ペアリングをする必要があります。

ペアリングとは、Bluetooth 機器同士(ここでは本製品と iPhone/iPad/iPod touch)をお互いに登録し、登録された機器との接続を許可する操作のことです。

iPhone/iPad/iPod touch で使用する

※以下は iPhone4(iOS 5.0.1)の画面で説明しています。その他の機種でも手順は同じです。
※iPhone3GS、第3世代 iPod touch で使用する場合、iOS 4.0以降にソフトウェアアップデートを行う必要があります。
ソフトウェアアップデート方法は、iPhone3GS、第3世代 iPod touch のマニュアルをご確認ください。
※本製品は、iPhone 3G、第1/第2世代 iPod touch では使用できません。

1 「設定」をタッチします。



3 「Bluetooth」をタッチします。



4 デバイスの検索中に、本製品の電源スイッチ ON にします。



5 「ELECOM TK-PBL042 登録されていません」をタッチします。

iPhone3GS、iPod touch でキーボードが見つからない場合、iOS 4.0以降にソフトウェアアップデートされていることを確認してください。

6 本製品の接続を開始します。



7 本製品を使用して、画面に表示されたパスキーを入力します。

キーボードの数字キーでパスキーを入力したあと、[Enter]キーを押します。



パスキーの入力ができなかった場合は、右の画面が表示されます。「OK」をタッチし、手順 3 から操作し直してください。



8 「ELECOM TK-PBL042」が「接続されました」となったらペアリングは正しくできました。



これでキーボードを利用できます。

接続が切れたときは

iPad/iPhone/iPod touch の状況によっては、接続が切れることがあります。その場合は、以下の手順で再接続を行います。

1 「設定」をタッチします。

2 「一般」をタッチします。

3 「Bluetooth」をタッチします。

4 「ELECOM TK-PBL042 接続されていません」をタッチします。

5 「ELECOM TK-PBL042」が「接続されました」となったら再接続できました。



Macintosh で使用する

※画面は Mac OS のバージョンによって異なりますが、手順は同じです。

1 Bluetooth メニューから「Bluetooth デバイスを設定」をクリックします。

Bluetooth 設定アシスタントが表示されます。



Bluetooth メニューが表示されていない場合は、アップルメニューから「システム環境設定」をクリックします。表示された「システム環境設定」画面で「Bluetooth」をクリックし、「Bluetooth」画面で「続ける」をクリックします。

MacOS X10.5.x をご使用の場合は、手順 2 に進みます。MacOS X10.6.x、10.7.x をご使用の場合は、手順 1 に進みます。

2 「続ける」をクリックします。



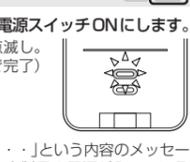
3 「キーボード」を選択し、「続ける」をクリックします。

追加する Bluetooth デバイスの検索が開始されます。



4 デバイスの検索中に、本製品の電源スイッチ ON にします。

状態表示ランプが濃い青色に点滅し、ペアリングが完了(手順 7 まで完了)すると消灯します。



5 「ELECOM TK-PBL042」をクリックし、「続ける」をクリックします。

画面にパスキーが表示されます。

6 本製品を使用して、画面に表示されたパスキーを入力します。

キーボードの数字キーでパスキーを入力したあと、[Enter]キーを押します。



7 「終了」をクリックします。

登録が完了すると、「Bluetooth」画面に「ELECOM TK-PBL042」が追加されます。



キーボードが正しく認識されなかった場合は、右の画面が表示されます。「OK」をクリックし、手順 1 から操作し直してください。

これでキーボードを利用できます。

マウスモードで使用する

本製品はキーボードモードとマウスモードを切り替えて、マウスのような操作を行なうことができます。

マウスモードは、iPhone/iPad/iPod touch では使用できません。

マウスモードに切り替える

1 FN キーを押しながら R キーを押します。



状態表示ランプが、淡い青色の点滅になります。



キーボードモードに切り替える

1 R キーを押します。



状態表示ランプが、淡い青色の点灯になります。



マウスモードでの操作

マウスモードでは、投影されたキーボード上を指を使って操作します。

● 1 本指で移動
マウスカーソルを移動させます。



● 1 本指でタップ
マウスのクリックと同じ動作をします。



● 2 本指で前後にスライド
2本の指でタッチして、そのまま2本の指をスクロールしたい方向にスライドします。動作しません。
※マウス機能は iPad/iPhone/iPod touch では動作しません。
※動作確認機種は弊社ホームページをご覧ください。



● 2 本指でピンチイン / ピンチアウト
2本の指でタッチして、画面上の対象物を拡大表示(ピンチイン) / 縮小表示(ピンチアウト)します。
2本の指を閉じた状態でタッチして、素早く開くように指をスライドすると、拡大表示になります。
2本の指を開いた状態でタッチして、素早く閉じるように指をスライドすると、縮小表示になります。



トラブルシューティング

正常に動作しないとき

■ キー入力ができない、キーボードが動作しない / 動作が不安定

→ 本製品の電源、接続機器の Bluetooth 機能または Bluetooth アダプタが ON になっていることを確認してください。
→ 本製品と接続機器が正しくペアリングされているか、ペアリングが切れていないかなど、ペアリングの状況を確認してください。

ペアリング中は通信表示ランプが青色に点滅し、ペアリングが完了すると消灯します。

→ 接続機器とキーボード本体の距離が離れすぎているか、接続機器が電波を受信できない方向を向いている可能性があります。接続機器の位置を調整するなどしてください。

本製品の動作範囲は、接続機器とキーボード本体が半径 10m 以内です。使用環境によっては、約 10m の範囲内でもキーボードが正常に動作しない場合があります。その場合は、動作が安定するところまで、キーボードを接続機器に近づけてください。

→ スチール製の机などの金属面では電波の到達距離が短くなる場合があります。この場合、キーボードの動作が安定するところまでキーボードを接続機器に近づけてください。

→ 本製品を複数で使用したり、他のワイヤレス機器と同時に使用すると、電波が干渉する可能性があります。他のワイヤレス機器のチャンネルを変更してください。

→ 内蔵電池の残量が少なくなると動作が不安定になります。「キーボードを充電する」(表面)を参照し、充電してください。
・内蔵電池の残量が少なくなると、充電 / 電池残量表示ランプがオレンジ色に点滅します。

※ キーボードを使用しないときは電源を切っておくと、電池を節約できます。

内蔵電池の問題

■ 充電時に、充電表示 / 電池残量表示ランプが点灯しない

→ パソコンが起動していないときは、パソコンを起動させてください。
→ パソコンがスタンバイモードになっているときは、パソコンのスタンバイモードを解除してください。
→ パソコンの USB ポートの電力が不足している可能性があります。パソコンの USB ポートに接続している機器を取り外してみてください。

■ 所定の充電時間と比べて充電時間が長い

→ 充電する場所の温度が高いか低い場合は、正しく充電できない恐れがあります。5℃～40℃の場所で充電してください。

■ 内蔵電池の使用時間が短い

→ 完全に充電しても使用できる時間が短くなった場合は、内蔵電池の寿命です。

基本仕様

製品名	キー投影型 Bluetooth® キーボード
製品型番	TK-PBL042BK
対応機種	iPad2, iPad, iPhone4S, iPhone4, 第4世代 iPod touch ・iOS4.0以降にソフトウェアアップデートされた iPhone3GS、第3世代 iPod touch(32GB/64GB) ※iPhone3G、第1・第2世代 iPod touch には対応しません。 ・Mac OS X(10.5 ~ 10.5.8, 10.6 ~ 10.6.8, 10.7 ~ 10.7.2) ・Bluetooth® HID プロファイルに対応した Android 端末 ※マウス機能は iPad/iPhone/iPod touch では動作しません。 ※動作確認機種は弊社ホームページをご覧ください。
接続方式	Bluetooth 無線方式
適合規格	Bluetooth® 2.0 Class2
プロファイル	HID(Human Interface Device)
電波周波数	2.4GHz 帯
電波方式	GFSK 方式
電波到達距離	非磁性体(木の机など): 約 10m 磁性体(鉄の机など): 約 3m ※当社環境でのテスト値であり保証値ではありません。
キー数	66 キー (英語配列)
光源	赤色レーザーダイオード ※レーザーの発光部を長時間直射しないでください。
キーピッチ	19.0 mm
外形寸法	W38.0 mm × D29.0 mm × H75.0 mm
動作温度 / 湿度	5℃～40℃ / ～90%RH(ただし結露なきこと)
保存温度 / 湿度	-10℃～60℃ / ～90%RH(ただし結露なきこと)
対応電池	充電式リチウムイオン電池(本体搭載)
電池容量	700 mAh
最大充電回数	約 300 回
充電時間	約 4 時間
動作時間	約 2 時間 (充電完了後から使用する場合) ※弊社環境でのテスト値であり保証値ではありません。不使用時は電源を OFF にすることを推奨します。

ユーザーサポートについて

【よくあるご質問とその回答】

www.elecom.co.jp/support
こちらから「製品 Q&A」をご覧ください。

【お電話・FAX によるお問い合わせ(ナビダイヤル)】

エレコム総合インフォメーションセンター

TEL : 0570-084-465
FAX : 0570-050-012

【受付時間】

9:00 ~ 19:00
年中無休

保証規定

■ 保証内容

1. 弊社が定める保証期間(本製品ご購入日から起算されます。)内に、適切な使用環境で発生した本製品の故障に限り、無償で本製品を修理または交換いたします。

■ 無償保証範囲

2. 以下の場合には、保証対象外となります。
 - (1) 保証書および故障した本製品をご提出いただけない場合。
 - (2) 保証書に販売店ならびに購入年月日の記載がない場合、またはご購入日が確認できる証明書(レシート・納品書など)をご提示いただけない場合。
 - (3) 保証書に偽造・改変などが認められた場合。
 - (4) 弊社および弊社が指定する機関以外の第三者ならびにお客様による改造、分解、修理により故障した場合。
 - (5) 弊社が定める機器以外に接続、または組み込んで使用し、故障または破損した場合。
 - (6) 通常一般家庭内で想定される使用環境の範囲を超える温度、湿度、振動等により故障した場合。
 - (7) 本製品を購入いただいた後の輸送中に発生した衝撃、落下等により故障した場合。
 - (8) 地震、火災、落雷、風水害、その他の天変地異、公害、異常電圧などの外的要因により故障した場合。
 - (9) その他、無償修理または交換が認められない事由が発見された場合。

■ 修理

3. 修理のご依頼は、本保証書の本製品に添えて、お買い上げの販売店にお持ちいただくか、弊社修理センターに送付してください。
4. 弊社修理センターへご送付いただく場合は送料はお客様のご負担となります。また、ご送付いただく際、適切な梱包の上、紛失防止のため受渡の確認できる手段(宅配や簡易書留など)をご利用ください。尚、弊社は運送中の製品の破損、紛失については一切の責任を負いかねます。
5. 同機種での交換ができない場合は、保証対象製品と同等またはそれ以上の性能を有する他の製品と交換させていただきます場合があります。
6. 有償、無償にかかわらず修理により交換された旧部品または旧製品等は返却いたしかねます。
7. 記憶メディア・ストレージ製品において、修理センターにて製品交換を実施した際にはデータの保全は行わず、全て初期化いたします。記憶メディア・ストレージ製品を修理に出す前には、お客様ご自身でデータのバックアップを取っていただきますようお願い致します。

■ 免責事項

8. 本製品の故障について、弊社に故意または重大な過失がある場合を除き、弊社の債務不履行および不法行為等の損害賠償責任は、本製品購入代金を上限とさせていただきます。
9. 本製品の故障に起因する派生的、付随的、間接的および精神的損害、逸失利益、ならびにデータ損害の補償等につきましては、弊社は一切責任を負いかねます。

■ 有効範囲

10. この保証書は、日本国内においてのみ有効です。
11. 本保証書は再発行いたしませんので、大切に保管してください。

キー投影型 Bluetooth® キーボード
TK-PBL042BK
ユーザーズマニュアル
2012年6月10日第2版
エレコム株式会社

- ・本書の著作権は、エレコム株式会社が保有しています。
- ・本書の内容の一部または全部を無断で複製 / 転載することを禁止させていただきます。
- ・本書の内容に関するご意見、ご質問がございましたら、エレコム総合インフォメーションセンターまでご連絡ください。
- ・本製品の仕様および外観は、製品の改良のため予告なしに変更する場合があります。
- ・本製品を使用したことによる他の機器の故障や不具合等につきましては、責任を負いかねますのでご了承ください。
- ・本製品のうち、戦略物資または役務に該当するものの輸出にあたっては、外為法に基づく輸出または役務取引許可が必要ですが、
- ・iPad、iPod touch、Mac OS および Macintosh は、Apple Inc. の商標です。
- ・Bluetooth® ワードマークおよびロゴは、Bluetooth SIG, Inc. が所有する商標であり、エレコム株式会社はこれら商標を使用する許可を受けています。
- ・その他本書に記載されている会社名・製品名等は、一般に各社の商標または登録商標です。